



# くぼたつ

久保田達也(くぼた・たつや): 冒険家、NAPU大学名誉人文学博士、ラッシュモア大学教授、工学院専門学校インターネット科特別講師、日経新聞ビジネスセミナー常任講師。

## くぼたつが行く～企画マン日記 企画とは日々を生きることと見つけた!

6月1日:日本工学院専門学校八王子校にてインターネット科1年生600人を対象に教壇に立つ。生徒からのアイデア募集課題として「ブロードバンドを活用した新番組」を命じ、授業中でも携帯メールOKにしてくぼたつの携帯メールに送信させた。中に「消費者生活センターの商品実験をリアルタイムで放映」というすばらしい案があったので、提案者とインタビュー形式でインプレスTVの番組として制作した。その後、提案者と生徒グループでプロジェクトを組ませたところ、ノンリニア編集からホームページ作成まで瞬時に完成させた。おそるべしティーンエイジャー **Jump01**。

6月6日:NYの画家「小林久子」先生の個展が銀座であり、作品1点を買上げた。小林先生の生き様をここ数年にわたって伺い、芸術家はその人生が肥やしとなり、その絵の中に魂として宿されるものなのだと教えられた。企画マンも創る仕事ゆえ、その業務を人生を反映させた作品と考えるに至った **Jump02**。



6月9日:「ネットCMを作る」と社員が燃えているので撮影現場を視察。パレエガンサー逸見智彦を題材にDA(ダイエツアミノ酸)の商品コマーシャルをネットで配信するという企画だ。制作スタッフは社員5人(平均年齢25歳)、制作費は総額30万円(テレビコマーシャルでは1億円が相場)、制作期間は撮影からホームページにアップするまで2週間だった。ウインドウズメディアとQuickTime形式でブロードバンド対応のストリーミング配信。これまで2年間に渡り社内で培ってきたノウハウを総動員して臨んだ結果だった。一見簡単に制作したように見えるが、企画力+プロデュース力+撮影/ノンリニア編集&ブロードバンド対応のエンコーディング技術などがあつての賜物だ。続いて7月24日の「あるある大辞典」でアミノ酸が紹介されるやいなや、アクセス件数が増大と同時にオンラインサインアップにてクレジット購入が激増、翌日の昼間には薬局チェーン店より6000箱一括オーダーなど業者からの仕入れが殺到、生産体

制が間に合わない状況にまで売れに売れまくった。成功での教訓 メディアミックスは機能する B2CはB2Bに発展する 家庭内にてテレビとインターネットは両方マーケットとして成立している。

6月14日～17日:日本工学院北海道校にてイベント。目玉は野田秀樹選手によりF1を校庭で走らせたこと **Jump01**。仕事の合間を縫って、北海道在住の医師でラリードライバーでプログラマーの恒川氏のエスコートにより原生林300kmを駆ったり、沼地や山頂でインマルサット64Kを立ち上げて実地検証をしたりした。現在のところ日本国内でインマル64Kを立ち上げられる環境を持っているメンバーは他に知らない。

6月22日:愛車ポルシェカレラ4を売却。理由は家族から「うるさい、狭い、暑い」と言われ、親からは「俺たちが乗れないから買い換える」と札束を渡されたから。

6月25日:息子(4歳男)がクラシックバレエをやりたいと言い出す。俺に似た体型だから不利だと考え込んでいたら、倉園編集長が「好きな道にダメ出ししたらあとで子供から恨まれる。リトルダンサーという映画を見るといい」と来たので認めることにした。親心に企画なし。

6月27日:プライスウォーターハウスクーパースコンサルタント株式会社の永野氏とランチ。コンサルティング業界は右肩上がり成長中で人材獲得にやっきとのこと。IT導入を含めた経営の合理化に大手会社はいつもの拍車をかけて生き残ろうとがんばっているが、中小企業はさらに水をあけられそうな気配。中小企業を救うビジネス企画は時代の必然性のような **Jump03**。

7月10日:日経新聞にてオンライン講座開始の一番バッテリーをくぼたつが務める。その準備が最終段階となった。これまで国内でオンライン講座は成功していない。日経スタッフもシステムチームも総力戦で臨む。結果は次回にレポート予定です。

**Jump01** [www.kubotatu.com/tv/daily/index.cgi](http://www.kubotatu.com/tv/daily/index.cgi)

**Jump02** [www.kubotatu.com/kobayashi/](http://www.kubotatu.com/kobayashi/)

**Jump03** [www.pwj.co.jp](http://www.pwj.co.jp)



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)